

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 24 日

所属	政策情報学部	職名	准教授	氏名	権永詞
研究課題	「アウトドアの社会学」の視点から見る自然の観光資源化				
研究キーワード	アウトドア 遊び 環境問題 自然保護	当年度計画に対する達成度		3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した	
関連するSDGs項目	14. 海の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう	該当なし		該当なし

1. 研究成果の概要

当該年度の研究計画として、①「アウトドアの社会学」のための理論化、特に「遊び」と「自然」に関する理論的検討②アウトドア・アクティビティについての定性調査を通じたアウトドア・フィールドの保全・維持・管理についての調査を挙げた。

このうち、①については、日本の社会学理論の文脈における「遊び」論の展開を整理したうえで、ロジェ・カイヨワの遊戯論における「聖-俗-遊」モデルにおける聖-俗=複合体が、現代社会においては俗-遊=複合体へと変化しつつあり、その過程で、「遊び」のラディカルな精神が挫かれつつある一方、個人化や脱伝統化に伴う文化的消費の多様化と、それが社会的協同の実現に対して持つ機能的な重要性を高めていることを検討してきた。2020年代になって、日本ではサーフィンやダイビング、アドベンチャー・ツーリズムなど、アウトドア・アクティビティを社会的な観点から論じた著作・論文の報告が増えているが、ほとんどはエスノグラフィなどの手法を用いた事例研究であり、「アウトドア」という「自然」に関わる「遊び」についての理論的な考察は十分になされているとは言えない。こうした現状に対して、カイヨワの遊戯論を現代的な文脈の中で再検討することには大きな意義があると考えている。この理論的構想については、22年度中に論文として報告することができなかつたため、23年度前半の発表を予定している。

また、②については、2022年度の学術研究助成金の調査と並行しながら、阿寒摩周国立公園におけるアウトドア・アクティビティの実態と、ツーリズムとの関連についての調査を行った。主な調査地域は北海道弟子屈町で、調査対象として釧路川源流域におけるカヌーツアーや弟子屈トレイルのハイクツアーを対象に、自治体の観光商工課、地元観光協会、環境省の国立公園管理事務所、NPOなどにインタビュー調査を行った。フィールド調査から明らかになった主な知見は以下の通りである。第一に、阿寒摩周国立公園が自治体面積の6割を超える弟子屈町では、現状、自然環境がそれなりに良好な状態で維持されているということ。ただし、地元のガイドや観光協会にはオーバーユースを懸念する声があり、それは弟子屈町におけるエコツーリズムの実践が成功を収めつつあるがゆえに、重要な課題となる可能性がある。第二に、上記に関連するが、弟子屈町役場、地域住民、環境省などが連携することで、弟子屈町はエコツーリズムを推進していく体制が確立されつつある。その一つの成果として、2023年の2月には環境省が推進する国立公園満喫プロジェクトの一環として実施された「阿寒摩周国立公園川湯温泉廃屋撤去跡地における宿舎事業」に、全国的な知名度をもつ星野リゾートが参入することが公表された。実現の背景には住民によるまちづくりの組織である「てしかがえこまち推進協議会」による10年にわたる活動が「エコツーリズム全体構想」の策定に至ったことが影響しており、「持続可能な観光」を推進する理想的なケースに見えつつも、この過程で大手の事業者が参入することや、オーバーユースが懸念される釧路川源流域への実効的な利用者数制限対策が整っていないことなど、「持続可能な観光」というブランドが、自然環境保全に悪影響を及ぼす懸念も存在している。弟子屈町のアクティビティは、阿寒摩周国立公園という、いわば保存の意味合いの強い地域で営まれるが故に、利用と保存や利用と保全、あるいは保存と保全といった二項にとどまらない、利用、保全、保存の三項の間で自然保護に関する葛藤が生じ

る。星野リゾートの開業は2026年を目指しており、今後の数年間で様々な環境が変化していくことが予測される。そのため、今後数年間にわたって、継続して観察・ヒヤリングを行うことで、「持続可能な観光」が抱える課題と可能性について検討する素材の収集を進める予定である。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

・なし

【著書・論文（査読なし）】

・なし

【学会発表等】

・なし

3. 主な経費

関連書籍の購入代、研究資料の分析用のノートパソコン、文具・ソフト代などの消耗品費・雑費として使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

・なし

（本文は2ページ以内にまとめること）